

建設業を元気にしたい

久慈市、九戸村、葛巻町の議会議員で構成する平庭地域市町村議会議員連絡協議会（会長 中崎和久議長）は2月18日、3市町村の議員49人が出席し、九戸村公民館で研修会を開催しました。

研修会では、盛岡市の（株）日刊岩手建設工業新聞社の宮野裕子取締役を講師に迎え「地方における建設業の必要性 ～早急な内需拡大策の提案～」と題し、講演をいただきました。

講演会で宮野さんは、バブルが崩壊し国の三位一体改革以降、今現在が最も市町村財政は厳しい状況であり、普通建設事業が三分の一まで激



県内の建設業の実態を話す宮野さん

減している。そんな中でも会社数は2千社で推移し工事量が少ないにもかかわらず入札数が多いため落札価格が設計金額の7割を割る工事も出てきた。これでは建設業者は生きて行けない。業者は説明が上手くないので、自分が現在の状況を世の中に伝える手助けをすべきと感じたと話します。

建設業は公共工事をする事で市場産業としての役割を立派に果たし、ひとたび災害が起こったり人の手に負えないことがあったとき、すぐに重機を引き連れて駆けつけたり、消防団員を多く抱え有事には出動に早く理解してくれる雇用主がいる。ものすごい地域貢献をしている。

入札制度を改善しないと地元の工事をしたいのに出来ない。採算の合わない隣の振興局の仕事をやって社員と同じ給料で事業主も生活しなければならぬと話し、結びに、「談合は悪いことである。だからそうしなくとも地元の業者が地元の工事をできるような仕組み作りを役所や議員が考えて欲しい。」と訴えました。議会では、真剣に考え議論すべき問題と認識しました。

議会を傍聴して



佐々木勝美さん
(車門地区)

傍聴のきっかけは、議会活動をどのように頑張っているのかを拝見してみたいと思いました。

感想としては、議員と役場が葛巻全体のことをよりよい方向へと考え話し合われて頑張っていることをよく感じました。

近年起こった災害に対しては迅速な対応をしていただきありがとうございます。ありがとうございました。

これからも安全安心な町づくりと、葛巻町をますます発展させるために頑張っていたいただきたいと思います。

次の定例会は
六月中旬です。
皆さんの傍聴を
お待ちしております。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

1月	46,000円 (12分団車庫建設祝賀会ほか)
2月	29,000円 (葛巻タイガース30周年祝賀会ほか)
3月	55,000円 (自衛隊入隊予定者激励会ほか)

編集後記

新緑の4月、21年度事業、予算も決まり、新年度が始まるなか、各学校でも入学式が行われました。

夢と希望を持つ立派な児童・生徒の姿を拝見し勇気をもらい、出会いを大切にしなければと改めて思いました。

広報委員会では、町民のみなさんの意見、写真を増やし、親しまれるような議会だよりの編集に努力します。

広報発行委員長 小谷地喜代治

